



No.3109

第3427回例会
平成27年2月13日

DISTRICT 2500

OBHIRO ROTARY CLUB



方針

歴史と伝統、新たなページへ

会長 合田倫佳



2014-15年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

■帯広5ロータリークラブ、芽室ロータリークラブ、音更ロータリークラブ合同例会(2月13日)

■帯広北RC会長挨拶



細川 吉博 会長

世界理解月間に、アンコール・ワットの遺跡発掘、修復にご尽力されている、上智大学アジア人材養成研究センター所長の石澤良昭先生をお招きました。石澤先生は、帯広出身で三条高校を卒業されましたから、「お帰りなさい」という気持ちでお迎えしました。きのうカンボジアを発たれ、バンコク、羽田経由で帯広に到着されました。雪などで飛行機が遅れたらどうしようと、とても心配で、今朝は起きるなり飛行機の運航を確かめました。

石澤先生の50年にわたるお仕事は、アンコール・ワットの遺跡の調査、発掘、修復、保存、石碑に残された文字の解読です。2001年には地中から274体の仏像を発掘するという、歴史的大発見もされました。すでに考古学分野の重要な賞を受けていらっしゃいます。先生のご研究、カンボジアとの交流は、まさに世界を理解することに通じるものと思います。石澤先生、本日は、よろしくお願ひいたします。

<石澤良昭先生・プロフィール>

1937年帯広出身。帯広三条高校を経て上智大学卒業。専門は東南アジア史。カンボジア王国のアンコール・ワット時代の碑刻文解読研究。2005年4月上智大学第13代学長に就任。2011年から上智大学特任教授。上智大学アジア人材養成研究センター所長。

■講演 石澤 良昭

上智大学・アジア人材養成研究センター所長
演題「アンコール・ワットを掘る—日本人歴史学者の挑戦—」



帯広三条高校には自転車で通学していました。帯広には先祖が眠っているので、用事があると自分のふるさとを確かめるような気持ちで帰ってまいります。

昨日までカンボジアにいて、発掘をやっていた。皆さんから声がかかり、万難を排して飛んできた次第です。今回、飛行機は定刻通りに飛び、私に味方してくれました。

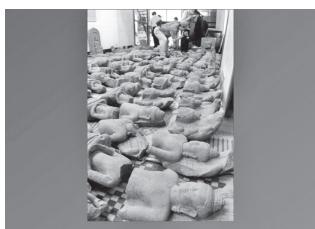
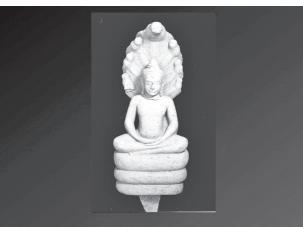
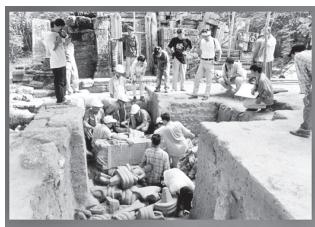
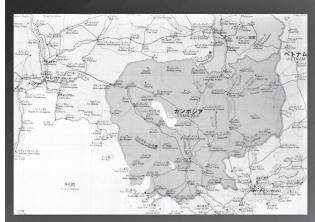
三条高校から上智大学に進み、フランス語を勉強しました。フランス人の先生から誘われて語学研修の目的でインドシナに行き、カンボジアでアンコール・ワットを見て、全身がぶるぶるえました。どうやってあんなに高く石を積み上げたのだろう。アンコール・ワットが建設された当時(12世紀前半)の社会経済背景はどうだったのか。どんな信仰を持っていたのだろう。この3つを研究しようと決心しました。

アンコール・ワットが建設された当時の資料は残っていません。というのも、中国から紙が伝わるのはベトナムまで。カンボジアまでは伝わらず、インドから来たヤシの葉に書いて記録していたのです。ところがヤシの葉は30年もたつとぼろぼろになってしまい、記録が残らなかったのです。そのため、多くは謎ばかり。わからないことがかえって、知的好奇心をかき立てます。

石造大伽藍、80帖に及ぶ大回廊の浮彫り、笑みをたたえた女神像、身舎の装飾など、尽くせぬ魅力があり、当時のカンボジアの人たちの生命の営みの中で、また、長い歴史の中で、それらはどんな意味があったのでしょうか。わずかに当時を伝えるものとして石の柱や壁に彫った文字が残っています。碑文に書かれていたことは、例えば、お寺にどれだけ寄進したか、ということなどです。ヤシの木100本寄進とか。そんな碑刻文から、歴史の一部を解明する研究を50年続けています。

カンボジアには酒を酌み交わす友人が30数人いましたが、ポルポト時代(1975年~79年)をはさみ、3人しか残らなかったのです。教育を受けた人たちを徹底的に殺したのです。1980年、鹿児島大学で働いていた私の所に、海外特派員に託した手紙が届きました。生き残った3人の1人からでした。いてもたってもいられず、カンボジアに行きました。ところが、国交のない国に、国家公務員が行くのはけしからんということになったのです。そのことがきっかけで、鹿児島大学を辞め、私立の上智大学に移りました。

カンボジアといえば、カボチャを思い出すこと思います。広辞苑にもカボチャはカンボジアから来られたウリとなっています。日本の明治維新のころ、フランス領インドシナに組み入れられ、90年の統治の末、1953年に独立しました。1970年から24年間にわたり内戦が続き、虐殺が150万人以上におよび、人々はすべてを失いました。上智大学アンコール遺跡国際調査団(ソフィア・ミッション)は、内戦中の1980年からカンボジアに出かけ、現地において人材養成活動を実施し、カンボジアのみなさんが勇気と希望を取り戻すお手伝いをしています。掲げているのは「カンボジア人による、カンボジアのための、アンコール・ワット修復」です。フランス人は「そんなことは無理」といいましたが、手先がとても器用であることは分かっていましたから、私は純粋な気持ちで、カンボジアの人たちの手で遺跡の修復はできると思っていました。アンコール・ワットはカンボジア民族の心の支えであると同時に自信を取り戻すエネルギー源でもあります。上智大学大学院では優秀なカンボジア人留学生を計画的に受け入れています。ソフィア・ミッションでは、アジアの仲間と一緒に活動し、21世紀のアジア市民を育てるという目標に向かって、ささやかですが、奉仕活動を続けていきたいと思っています。(講演と配布資料から構成)



■謝辞

平田 利器 帯広西RC会長

石澤先生、ご多忙の中、ありがとうございました。長旅のお疲れにもかかわらず、ご講演をいただき心から感謝申し上げます。学生時代から長きにわたりるカンボジアとの交流、遺跡の保存修復、人材育成という活動を継続し、ご尽力されていることに、深い感銘を受けました。現地の人の育成はきわめて地道なことだと思います。歴史的なことを調べるのは、たいへんに根気にいる研究だと思います。巨大な石の運搬方法、測量などを実際に実験されるなど、石澤先生のご研究も試行錯誤されてここまでこられたことと思います。心に残る講演をいただき、まことにありがとうございました。私もカンボジアに行ってみたい、そう思いました。

■会務報告

石岡 幸雄 帯広北RC幹事

- ①・帯広南RC 2月16日(月)の例会は2月13日繰り上げ例会といたします。
 ・帯広RC 2月18日(水)の例会は2月13日繰り上げ例会といたします。

②帯広東RC 夜間通常例会開催のご案内

日 時 平成27年2月17日(火)午後6時30分
場 所 アパホテル帯広駅前

③帯広西RC 創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 平成27年2月19日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル

④帯広北RC 創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 平成27年2月20日(金)午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広

⑤RI2500地区第6分区 IM 開催のご案内

日 時 平成27年3月14日(土)

登録受付	14:00～14:30
開会式	14:30～15:10
特別講演	15:20～16:50
閉会式	17:00～17:20
懇親会	17:30～19:00

場 所 北海道ホテル

特別講演 ・ロータリー米山記念奨学生OB
 ジャンチブ・ガルバドラッハ 様
 ・ロータリー米山記念奨学会前事務局長
 (東京北RC) 坂下 博康 様



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリーダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30～13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

- 創立 / 昭和10年3月15日
- 認証番号 / 3820
- 戦後再開 / 昭和25年12月19日
- 事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行 / クラブ広報
- 委員長 / 飛岡 抗
- 委 員 / 河村 知明・小林 一夫・横尾 俊輔・猿川 陽介・日浅 尚子
- ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>

